

幅の細いルート帯案及び評価項目案に対する意見等について

回数	日時	会場	参加人数
1回	令和3年9月22日(水)午後6時～7時	常盤公民館 講堂	36
2回	令和3年9月23日(木)午後2時～3時	サン・アルプス大町2階 大会議室	31
3回	令和3年9月23日(木)午後6時～7時	サン・アルプス大町2階 大会議室	31
4回	令和3年9月24日(金)午後6時～7時	平公民館 講堂	75
5回	令和3年11月4日(木)午後6時30分～8時	野口公民館	45
6回	令和3年12月20日(月)午後6時30分～8時	泉公民館	28
7回	令和4年1月13日(木) コロナで延期	大原町公民館	

計 246

・住民説明会及び意見募集に寄せられた意見等に対する大町建設事務所の回答は、下記の通りです。

【事業計画等について】

回答

1	・高速道路の無いこの地域にとっては、今後の産業を支える道路の整備は必要です。	大北地域は現在高速交通ネットワークの空白地帯となっています。松本糸魚川連絡道路の整備により、広域的な輸送機能や移動手段が確保されるなど、県土や地域の均衡ある発展の実現が図られると考えています。地域の皆様のご理解とご支援をいただき、実現に向けて取り組んでまいります。
2	・松糸道路はこの地域の命綱です。災害時の安心確保のためにも災害に強い道路を作ってほしい。	道路計画の目標である災害に強い道路を目指し、計画してまいります。
3	・古い時代の計画はこの時代にそぐわない。もっと市民の考えを把握してほしい。	市民の皆さんには、様々なご意見があることは承知しています。大町市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
4	・多額の費用をかける価値があるのか疑問です。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地帯であり、高速道路へのアクセス性が低いことが企業誘致や観光誘客、重篤患者の救急搬送の上で課題となっています。大町市街地が松本・安曇野や北陸地域と結ばれることで、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展が期待できることや観光の活性化も期待されています。
5	・高規格道路ができることで、観光資源への影響、騒音問題等が懸念されます。	ルート帯の選定にあたっては、観光拠点とのアクセス性や住環境への影響も踏まえて比較評価してまいります。
6	・事業のスケジュールを知りたい。	最適ルート帯を選定し、ルート（線）の決定後、事業化してから詳細な調査や設計を行います。その後、用地補償等を行い工事に着手いたします。工事期間は、概ね10年程度を目標に実施する予定です。
7	・大町の自然を残してほしい。	影響については、出来る限り低減するよう、今後、具体的な調査等を検討してまいります。
8	・オリンピック道路は大型車がスピードを出すので危険です。大型車が余裕をもって走ることができる道路を望みます。	松糸道路については、地域高規格道路として、安全性・走行性が確保される構造で整備を行ってまいります。
9	・主要交差点の立体化、線形改良、拡幅、横断道の集約化等で現道活用ができると思われれます。	現道活用は拡幅改良による住民への影響や信号交差点、沿道からのアクセスなどによるサービス速度の確保に課題がありますので、この解決策としてバイパス案を提案しています。
10	・松糸道路ができることで生活がどう変わるのか知りたい。	松本・安曇野や北陸地方との連携・高速ネットワークが構築され、移動時間の短縮効果が発生し、新たな産業の創出、地域産業の振興と雇用の創出、高度医療利用向上などが期待されます。また、北陸自動車道や長野自動車道とのアクセス性の向上により観光客の増加、周遊性の向上、観光地の魅力向上が期待されます。
11	・インターチェンジの数は2ヶ所で良いのでは。	幅の広いルート帯の比較時から、起終点部と、主要道路との交差点部を併せて4箇所のICを想定しています。幅の細いルート帯が定まりましたら、大町市や地域の皆様のご意見を伺いながら、インター箇所についても検討してまいります。
12	・盛土法面の緑化について景観向上となるよう工夫してほしい	詳細な道路構造については、説明会等により意見を頂きながら今後検討してまいります。
13	・盛土の影響を受ける場所も買収してほしい。	詳細な道路構造・買収範囲については、今後検討してまいります。

14	・計画の終着点がある程度示し、都度、計画の進捗を検証してほしい。	今後の進め方をお示しし、進捗を図ってまいります。
15	・道路利益を含め説明してほしい。	松糸道路整備で長野道等の高速道路へのアクセス時間が短縮するほか、災害時等において信頼性の高い緊急輸送道路として機能します。アクセス圏域の拡大や輸送効率向上等、道路利用者や地域への波及効果等があります。
16	・逆走防止のために工夫することは有りますか。	最適ルート帯の選定以降、安全対策等も含め今後検討してまいります。
17	・維持管理費を示してほしい。	今後の比較評価でお示しします。
18	・ガイドラインに「対策をしない案、他の施策の組合せ」をのせるとありますが、これが抜けています。	幅の広いルート帯を検討した際に決まった西ルート帯の中で幅の狭いルート帯を3案示し、検討を行っています。「対策をしない案、他の施策の組合せ」では松糸道路の目的を達成できないと考えています。
19	・比較的進めやすいところから整備を進めてほしい。	最適ルート帯の選定以降、整備計画を進めてまいります。
20	・歴史的経過や、必要性など、もう少しわかりやすく提示してほしい。	2018（H30）年からの経緯をHPに掲載していますが、今後とも必要性などを説明してまいります。
21	・将来の各時点における必要性をきちんと考慮して進めてほしい。	将来推計交通量に基づいて必要性も考慮して進めてまいります。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の調査は固定カメラを何台設置して通行車両カウントしていますか。 ・予測交通量の数値と時間帯分布はどうなっていますか。また誰の統計式を採用されていますか。 ・現運転免許者数は2050年には増えるのか 減るのか。 ・今案は農業委員会等は納得しておりますか。 ・コロナ禍起因で、産業構造が変わりますが、長野県としてどう予測シミュレーションしているのか。 ・通行車両の車種構成（大型トラック、コンテナ便等）の予測結果はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現況交通量は、平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査の値を用いております。 ・予測交通量は一般に日単位で行うため、時間単位での予測は行っていません。なお、予測交通量は、平成22年に国が公表した将来OD交通量（20年後の起終点間の交通量）に基づく予測値です。 ・長野県の運転免許取得者の推計値は持ち合わせておりません。なお、実績値はR1→R2で147.7万人→147.1万人に減少しています。 ・農業委員会の代表が参加する大田市都市計画審議会へ段階毎に説明しています。今後、具体的な課題が明らかになった時点で対策などを検討していく必要があると考えています。 ・コロナ禍の影響は考慮しておりません。 ・車種構成での予測はしておりません。
23	・いつ頃完成しますか。	最適ルート帯を選定し、ルート(線)の決定後、事業化してから詳細な調査や設計を行います。その後、用地補償等を行い工事に着手いたします。工事期間は、概ね10年程度を目標に実施する予定です。
24	・松糸道路は、地域の拠点性を高め、観光産業を発展させる「地域を育む道」を希望します。	松本・安曇野や北陸地方との連携・高速ネットワークが構築され、移動時間の短縮効果が発生し、新たな産業の創出、地域産業の振興と雇用の創出、高度医療利用向上などが期待されます。また、北陸自動車道や長野自動車道とのアクセス性の向上により観光客の増加、周遊性の向上、観光地の魅力向上が期待される「地域を育む道」として取り組んでまいります。
25	・冬季は積雪で走行車線に制限がかかるため、できる限り幅員は広いことが望ましい	冬期においても走行性が保たれるよう片側の路肩幅員1.5mを確保し、道路幅員9.5m程度を予定しています。
26	・この道路自体の必要性を住民を含めて考える機会をつくって頂きたいです!	大田市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
27	・固定カメラによる交通車両計測（通年）をなぜ、実施しないのでしょうか	一般道における計測方法等が確立していないため、現在は実施していません。
28	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち退きはどのように考えていますか。 ・盛り土を含めた高さはどれ位になるのか。 ・今後 ルート帯の位置を少しずらすことは可能ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う補償や用地買収につきましては、用地や補償の基準により行ってまいります。 ・詳細な道路構造については、説明会等により意見を頂きながら今後検討してまいります。 ・地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮したルート帯案を提示しています。
29	・この道路の建設にあたってのメリットとデメリットをどう考えているかを知りたいです。	メリットは事業実施による各種効果が発現されることであり、環境への影響や農業への影響等がデメリットと考えています。
30	・盛土構造を計画している理由の説明をお願いします。	詳細な道路構造については、説明会等により意見を頂きながら今後検討してまいります。

31	・海や川の近くではないこのルートに水害を考慮する必要があるのでしょうか。	公表された浸水想定区域（想定最大規模降雨）等では、高瀬川が氾濫する危険性があるため、必要と考えています。
32	・「松糸道路」は建設決定事項ですか。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地帯であり、高速道路へのアクセス性が低いことが企業誘致や観光誘客、重篤患者の救急搬送の上で課題となっています。大町市街地が松本・安曇野や北陸地域と結ばれることで、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展が期待できることや観光の活性化も期待されるため、必要と考えています。
33	・自動車専用道路ですか。自転車、小型二輪（125cc未満のバイク）も走れる道路にはしてもらえないのですか。	自動車専用道路は想定していません。
34	・大町市は将来ビジョンとしてコンパクトシティ構想と関連はどうなっていますか。	まちづくりとの連携性（コンパクトシティ構想）を評価に取り入れるなど整合を図ったルート帯案としています。
35	・立体交差が必要な箇所についてはアンダーパスにしてほしい。	詳細な道路構造については、説明会等により意見を頂きながら今後検討してまいります。
36	・土砂は何処から切り崩してくるのでしょうか。	盛土量や施工時期が決まっていないため、現時点では未定です。
37	・各地域の田畑からどう見えるかの方が大切だと思います。	評価の視点「道路からの眺望」に加え、住民目線からの眺望も評価します。
38	・松糸道路を作るよりも、そもそも町の主要施設を移動する方が先決ではないか。	主要施設のあり方は大町市やその他の管理者が検討するものですが、まちづくりの観点から松糸道路は必要な道路施設として大町市の計画に位置付けると聞いています。
39	・高規格道路となると路面構造も高速道路並みになるのか。	基準により走行性を確保した構造とする予定です。

【事業の進め方について】

回答

40	・もっと時間をかけて、多くの住民を巻き込んで話し合う場がほしい。	大町市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
41	・住民の暮らしに影響を与える事業なのに多くの住民が知らないことが問題と思います。	市報やHP等を通じ、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
42	・今の進め方に賛同できません。	大町市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
43	・説明会は賛成の意見を言える雰囲気ではなかったです。	住民説明会の実施方法を検討してまいります。
44	・事業の進行管理は大町市主体でやってほしいです。	大町市と連携を図りながら進めてまいります。
45	・環境影響評価を実施してほしい。	県の公共事業環境配慮制度を予定しており、必要な環境調査を実施し、環境に与える影響を少なくしてまいります。
46	・地元との合意形成が大切です。	大町市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
47	・若い世代に分かりやすく、説明会も時間帯や回数を工夫してください。	住民説明会の実施方法を検討してまいります。
48	・説明会は子育て世代の方も来易いような時間で託児もあると良いです。	住民説明会の実施方法を検討してまいります。
49	・ガイドラインにあるファシリテーターを入れた意見交換会を望みます。	大町市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
50	・概略計画の経緯は随時説明会を実施してほしい。	今後ともステップ毎に説明会を実施するなど、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
51	・オンラインでの開催は、ありますか。	公民館等での説明会を予定していますが、必要に応じてオンラインでの説明を検討してまいります。
52	・Y o u T u b e で説明の部分だけでなく、質疑応答も流すべきではないでしょうか。	発言者個人が特定される状況をYoutubeで配信することはプライバシー保護の観点から行いません。
53	・ルートの動画を作成中とのことでしたが、回答締め切りに動画が間に合うようにしてください。	申し訳ございませんが、今後、景観イメージを用いたルート帯の説明を予定しています。
54	・広い観点からの検討と説明をお願いします。	ルート帯の選定にあたっては、各ルート帯を様々な視点で比較評価してまいります。
55	・長野県環境影響評価条例に即して、計画段階配慮書手続きにより、調査予測評価を行い、適切な整備方法を決定すべきである。	県の公共事業環境配慮制度を予定しており、必要な環境調査を実施し、環境に与える影響を少なくしてまいります。
56	・ルート帯3つが別れる前と合流してからは、すでに土地の買収が済んでいると考えて良いのでしょうか。	事業着手していませんので、買収は行っていません。

57	・道路が家のすぐ前を通る場所であるにも関わらず説明会の連絡等一切ありませんでした。	市報やHP、プレスリリースを通じて連絡を行いましたが、今後説明会の連絡方法を工夫してまいります。
58	・大町市はどう考えているのか、直接市民へ説明してほしい。	大町市では、松糸道路を都市構造を支える柱として、暮らしに必要な様々な機能性を高め、強固な交通網として考えております。また、今後とも市と連携し、コミュニケーションプロセスを踏まえ、市民の皆様と疑問や課題解決に向け取り組みを進めたいと考えています。
59	・企業や団体への説明も必要ではないかと思えます。	幅広く説明会に参加できるよう工夫してまいります。
60	・松糸道路建設に於いて、全ての区間に於いての長野県環境アセスメントの執行を希望いたします。	事業の実施方法が定まった時点で事業区間を設定し、環境影響評価法、長野県環境影響評価条例の対象事業に該当する場合は、執行すること検討してまいります。
61	・環境アセスを執行せず、各市町村の住民説明会に至っている理由をお知らせください。	大町市街地区間については、県の公共事業環境配慮制度を予定しており、必要な環境調査を実施し、環境に与える影響を少なくしてまいります。その他の区間については、事業の実施方法が定まった時点で事業区間を設定し、環境影響評価法、長野県環境影響評価条例の対象事業に該当する場合は、実施してまいります。
62	・説明会そのものがなぜあるのですか。	地域とのコミュニケーションプロセスが重要と考えています。
63	・大町市都市計画マスタープランの「進行管理」は本来大町市がやるべきことで、県がやるべきことではない、と考えます。 説明資料の作成や説明会は、大町建設事務所と大町市が連名で行うべきではないでしょうか。	説明会を大町市と共催するなど、連携を図りながら進めてまいります。
64	・来年3月という期限を白紙にして、十分な周知と議論と様々な角度からの評価、検討をしてから計画を進めて下さい。	大町市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
65	・説明会を企画した団体名は何処に所属しているのですか	長野県建設部大町建設事務所です。
66	・なぜ県は自治会単位の説明会を開かないのですか。	自治会を対象とした追加説明会等を実施しています。

【ルート帯の設定について】

回答

67	・3ルート帯とも住宅地を通るので疑問です。	西ルート帯において、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮したルート帯案を提示しています。
68	・大原クランクは、冬期凍結、事故が多いので通過するルートは反対です。	最適ルート帯の選定以降、必要な対策を含めた事業計画を策定いたします。
69	・別のルートで再考をしてください。	幅の広いルート帯を検討した際に決まった西ルート帯の中で幅の狭いルート帯を3案示し検討を行っています。
70	・高瀬川が浸水した時に防波堤になるルートにしてほしい。	ルート帯の選定にあたっては、市街地の防災性向上も踏まえて比較評価してまいります。
71	・「3ルート帯のそれぞれを望む意見がありました。」	ルート帯の選定にあたっては、各ルート帯を様々な視点で比較評価してまいります。
72	・出来るだけ民家の少ないルートとしてください。	ルート帯の選定にあたっては、住環境への影響も踏まえて比較評価してまいります。
73	・市街地に近いルートで地域の活性化や利便性が高まることを期待します。	ルート帯の選定にあたっては、地域の活性化・市民の利便性も踏まえて比較評価してまいります。
74	・盛土道路は、集落の分断と交流が途絶えてしまいます。	ルート帯の選定にあたっては、地域分断への影響も踏まえて比較評価してまいります。詳細な道路構造については、説明会等により意見を頂きながら今後検討してまいります。
75	・市街地以北（木崎湖地区）の計画案も示してほしい。	木崎湖以北も現況調査などを進めています。西ルート帯として決定した大町市街地区間を先行して進めています。
76	・高瀬川沿いのルートで再考をしてください。	高瀬川沿いを北上すると霞堤や高瀬上橋、JR橋等と交差が技術的に難しく、住宅地への影響も大きくなることと、高瀬川を渡河する道路の線形を考慮してバイパス案を提案しています。
77	・起点から一旦上一交差点の西に向かう理由は为什么呢。 そのまま高瀬川沿いに北上する方が距離が短くなっていいのではないか。	高瀬川沿いを北上すると霞堤や高瀬上橋、JR橋等と交差が技術的に難しく、住宅地への影響も大きくなることと、高瀬川を渡河する道路の線形を考慮してバイパス案を提案しています。

78	・堤防道路から高瀬川沿いに運動公園あたりまで来て、その後対岸に渡り、BCルートへ行くか、蓮華大橋近くまで真直ぐ行って対岸に渡り、その後鹿島川沿いに北上し、源汲、鹿島からトンネルで中綱あたりに抜けることを切望します。	高瀬川沿いを北上すると霞堤や高瀬上橋、JR橋等と交差が技術的に難しく、住宅地への影響も大きくなることと、高瀬川を渡河する道路の線形を考慮してバイパス案を提案しています。幅の広いルート帯を検討した際に決まった西ルート帯の中で幅の細いルート帯を3案示し、検討を行っています。
79	・高瀬川堤防沿いに北上し、鹿島川の堤防を北上し、大谷原まで行き、そこからトンネルで白馬村神城までつなぐ案を提案します。	高瀬川沿いを北上すると霞堤や高瀬上橋、JR橋等と交差が技術的に難しく、住宅地への影響も大きくなることと、高瀬川を渡河する道路の線形を考慮してバイパス案を提案しています。幅の広いルート帯を検討した際に決まった西ルート帯の中で幅の細いルート帯を3案示し、検討を行っています。
80	・銀松苑付近へ社青島地区から高瀬川を渡河する橋梁を架けていただきたいと願っています。	幅の広いルート帯を検討した際に決まった西ルート帯の中で幅の細いルート帯を3案示し、検討を行っています。
81	・元々A,B,C案はどういう形で決まったのでしょうか。	西ルート帯において、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、公共施設や住宅など周辺環境への影響を考慮したルート帯案を提示しています。
82	・バイパス国道148号線と直接つながるルートも考えてほしいです。	幅の広いルート帯を検討した際に決まった西ルート帯の中で幅の細いルート帯を3案示し、検討を行っています。
83	・木崎湖以北は何も決まっていないというのに、なぜ大町市内だけを先に進めたいのか説明してほしい。	木崎湖以北も現況調査などを進めています。西ルート帯として決定した大町市街地区間を先行して進めています。
84	・全てのルート帯案で起点部は変わらず自宅をかすめています。家がなくなると言うことでしょうか。	詳細な道路構造については、説明会等により意見を頂きながら今後検討してまいります。
85	・西ルートを選んだ時のデータを開示してほしい。	大町建設事務所のHPに松本系魚川連絡道路「幅の広いルート帯の選定」として経緯を公開しています。
86	・道路は出来るだけ住宅地から離れたルートとしてほしい。	ルート帯の選定にあたっては、住環境への影響も踏まえて比較評価してまいります。ルート帯選定後、ルート（線）について検討してまいります。
87	・木崎湖の東側を通る道は断層間近になるので建設不可能ではないでしょうか。	木崎湖周辺は、現道活用を基本として検討を進める区間としています。
88	・住環境、安全を考慮して、住宅地区を通過しないでほしい。	ルート帯の選定にあたっては、土地利用や住環境への影響も踏まえて比較評価してまいります。
89	・現在の148号線の木崎湖より中綱湖・青木湖迄が単線の為、木崎湖寄りの青木湖・中綱湖の間の道路改善をお願いします。	木崎湖以北も現況調査などを進めています。西ルート帯として決定した大町市街地区間を先行して進めています。
90	・糸静構造線にあるので西ルート3案とも東ルートより安全なのでしょうか。	地震時の影響は東ルート帯に比べ、西ルート帯の方が小さいと考えています。

【比較評価（案）について】

回答

91	・観光重視の安曇野市でも高速道路があり、観光来客は途絶えていない。経済視点も重視して進めてほしい。	ルート帯の選定にあたっては、まちづくりとの連携や地域の活性化も踏まえて比較評価してまいります。
92	・景観がどのように変わるのかイメージ図や立体図を示してほしい。	今後、景観イメージ等でお示しします。
93	・長野県は、しあわせ信州創造プラン2.0で基本目標「美しい」を掲げ、大町も総合計画で景観が柱であり、SDGSが重要です。	ルート帯の選定にあたっては、景観等の保全も踏まえて比較評価してまいります。
94	・住民目線で評価してほしい。生活、環境、景観等が希薄と感じます。	大町市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。生活、環境、景観を含め各ルート帯を様々な視点で比較評価してまいります。
95	・A,B,C案のコストと評価に対する達成度を具体的に表で示して意見を問うべきだと思います。	比較評価を実施した段階で住民説明会を開催し、意見等を頂く予定です。
96	・立地適正化計画を進めていく上で、どの様に連携をしていくのでしょうか。	都市機能誘導区域や居住誘導区域等との連携を考えています。
97	・松糸道路ができることで、市民の生活はどう変化していくのでしょうか。	松本・安曇野や北陸地方との連携・高速ネットワークが構築され、移動時間の短縮効果が発生し、新たな産業の創出、地域産業の振興と雇用の創出、高度医療利用向上などが期待されます。また、北陸自動車道や長野自動車道とのアクセス性の向上により観光客の増加、周遊性の向上、観光地の魅力度向上が期待されます。

98	・立適で中心地が浸水エリアになるのに、道だけ高くして意味があるのでしょうか。	松糸道路は、浸水した場合に想定される水深でも通行可能な道路として整備を予定しています。防災・減災面の取り組みによって避難時間や避難場所の確保につながるものと考えています。
99	・活性化では、具体的な変化を数値で示してほしい。	移動時間の短縮効果は大町建設事務所のHPで公開しています。
100	・松糸ができることによる高次医療への速達性を、救われた人数で示してほしい。	時間短縮効果や影響範囲等を比較評価で実施する予定です。救急搬送等にかかわる基礎データがないため、予測数値を算出することは難しいと考えています。
101	・渋滞時の短縮時間が知りたいです。	渋滞時の短縮時間は、渋滞の実測値がないため計算できませんが、整備による短縮時間の算出を予定しています。
102	・評価は誰がするのでしょうか。	評価は長野県が実施します。
103	・評価項目とは何でしょうか。	幅の細いルート帯案を比較評価するための項目です。 ①交通の円滑化、②災害に強い道路、③防災拠点とのアクセス性、④環境の保全、⑤景観・文化財の保全、⑥土地利用への影響、⑦安全な暮らしの確保、⑧まちづくりとの連携、⑨市民の利便性、⑩地域の活性化、⑪経済性、⑫施工性、⑬効果の早期発現を予定しています。
104	・複数の評価の視点が一つの評価項目まとめられ客観的に評価できないと感じます。 評価項目を細分化して視点と項目が整合するようにしてください。	評価項目の内容を細分化した視点で評価を実施してまいります。
105	・評価項目についての議論は深まっています。改めて説明会等を設定し、合意形成を図ってください。	評価項目に対して多数の意見等を頂いています。意見等を反映させた評価項目を提示する予定です。
106	・連絡道路と並行する公共交通の衰退に関して、負の評価をすべきではないでしょうか	道路整備によって公共交通の衰退につながらないよう大町市と連携して進めてまいります。
107	・ヘリ輸送の環境を整えた方が良くはないでしょうか。 具体的に松糸が出来ると、どう変わるか。救急搬送の制度で説明してほしい。	救急搬送の面についても効果的な道路となるよう大町市と検討してまいりたいと考えています。
108	・大きく農地を失うが影響に関して説明がありません。収穫料がどれくらい減るか、農家何件分なのか、など説明してほしい。	ルート帯の選定にあたっては、土地利用（農地を含む）への影響も踏まえて比較評価してまいります。
109	・集落を分断するのは間違いありません。具体的に横断箇所が何箇所かなど示してほしい。 騒音を音の大きさが耳で聞けるようにしてほしい。数字では分からない。 生活の変化を具体的な事にきちんと評価して伝えてほしい。 神聖な神社仏閣からは大きく距離をとってほしい 大町市の文化財は田畑も含まれており、先人達が残してきたものを評価して、新設を減らすべき。 町に暮らしている方にとっては、暮らしからの景観が大事。 大北地域の景観や穏やかさは観光や移住者誘致に重要な要素。 アルプスや田畑の眺め、静けさなどをもっと具体的に評価して、建設を判断すべき。	ルート帯の選定にあたっては、住環境を含む環境への影響、景観や文化財への影響、土地利用への影響、地域分断への影響、まちづくりとの連携性等も踏まえて比較評価してまいります。詳細な道路構造については、説明会等により意見を頂きながら今後検討してまいります。
110	・道が出来た時の大町市への経済効果を根拠やデータで示してほしい。	移動時間の短縮効果でアクセス圏域の拡大や輸送効率向上等、道路利用者や地域への波及効果が生じ、新たな産業の創出、地域産業の振興と雇用の創出が期待されます。今後、整備による効果などについて検討してまいります。
111	・建設の影響による人口の推計を教えてください。	人口の推計は、国立社会保障・人口問題研究所によって実施されますが、建設の影響を予測に取り入れるのは困難と思われます。
112	・知り得たマイナス面に対し事前に改善を図って問題点は解消し、項目全てが○印になる様計画を進めるべきではないでしょうか	評価の結果で見えてきた課題に対しては、今後課題解決に向けた検討を行ってまいります。
113	・盛土によって風景が見えなく家がどれだけ発生するかで評価してほしい	死角範囲の統一的な設定が難しく、定量的な評価が困難と考えますが、影響を受ける範囲等について検討してまいります。

【その他について】

回答

114	・大町市が松糸接続部に使う事業費はどのくらいでしょうか。	現時点では、接続道路の詳細計画が決定していないので大町市の事業費を算出するのは困難です。
115	・この道路の是非を問う住民投票を実施してほしい。	国のガイドラインに沿って、県と市が連携し、段階的にコミュニケーションプロセスを通じて市議会や都市計画審議会、地域の皆様からご意見をいただきながら検討を進めてきた経過があります。したがって、松糸道路の是非について住民投票を実施するものではないと考えています。 今後とも、大町市と連携し、地域の皆様の疑問や課題の解決に向けた合意形成に尽力してまいります。
116	・北アルプスや田園風景の評価が道路の景観、道路からの眺望に置き換わっていませんか。	評価の視点「道路からの眺望」に加え、住民目線からの眺望も評価してまいります。
117	・事業により景観が悪化した際に 代替えの土地や住宅、生活環境に対する補償がありますか。	事業に伴う補償や用地買収につきましては、用地や補償の基準により行ってまいります。景観が悪化した場合の補償基準はございません。
118	・盛り土で行う道路であれば道にあたらぬ家も要請があれば用地買収してほしい。	詳細な道路構造については、説明会等により意見を頂きながら今後検討してまいります。事業用地以外の用地買収は行えません。